

**【総 評】**

午前試験は、テクノロジ系の計算・事例系の問題が多く、全体として初出題の用語問題も多く見られたため、やや難しめであったといえます。

午後試験では、必須問題のアルゴリズムの難易度が高かったため、前回と同様に難易度はやや高めでした。

**【午前】**

今回の午前試験の出題内訳は、以下のようになっており、例年より基礎理論が1問少なく、技術要素が1問多くなっていました。今後も、出題割合が大きく変わることはないでしょうが、1問程度の増減はあると考えてよいでしょう。

内訳	テクノロジ系：50問
	基礎理論：7問
	コンピュータシステム：15問
	技術要素：23問
	開発技術：5問
	マネジメント系：10問
	ストラテジ系：20問

前半のテクノロジ系では、50問中20問程度が計算や事例系の問題であったため、前回(平成28年秋)と同様に解答に時間のかかる出題構成であったといえます。また、情報セキュリティも含めた各分野で「スケールアウト、ソートマージ結合法、SDN、タイムスタンプサービス」といった新用語の出題割合が前回より多めでしたので、難易度はやや高めといえます。ただし、計算や事例系にも過去問題の流用や類似した問題の出題もありましたので、それらも含めた頻出テーマや易しめの問題を確実に正解できたかがポイントになったでしょう。

後半のマネジメント・ストラテジ系では、「トレンドチャート、かんばん方式、アフィリエイト、ファシリテータ」などの新用語もありましたが、過去問題の流用や頻出テーマも多く見られました。また、ストラテジ系の計算問題が1問のみであったこともあり、時間的難易度は低めでした。

午前全体で見ると、前半がやや難しめ、後半が標準的な難易度であったという印象です。過去問題の流用も例年どおり多くみられましたので、テキスト学習及び過去問を中心とした演習により、各分野について用語やその特徴、計算の公式や解法パターンなどの幅広い知識を確実に身に付けていた方ならば、合格に必要な正答数を得られたでしょう。

## 【午後】

午後試験の選択問題(問2～7)では、次の分野から出題されました。前回まで2回連続で出題されなかったハードウェアが出題され、今回はソフトウェアがはずれました。

問2：ハードウェア

問3：データベース

問4：ネットワーク

問5：ソフトウェア設計

問6：プロジェクトマネジメント

問7：システム戦略

必須問題の**問1(情報セキュリティ)**は、インターネット経由で安全にファイルを受け渡す方法について検討する内容でした。前半では共通鍵暗号方式及び公開鍵暗号方式を用いた場合の鍵の送付や入手における安全性の確保について問われました。後半ではVPNなどを用いた三つの受け渡し方法について、機密度やコストなど考慮してどれを選ぶかが論点となっています。計算も要求されますが、決して難しいものではありません。難易度は、やや易しい～標準的です。

選択問題(問2～7)は、問題によって解答時間や難易度に多少差があった印象があります。

**問2(ハードウェア)**は、7セグメントLEDを用いた温度モニタの問題でした。過去に類似問題が出題されていますので、その演習経験があれば、より解き易かったと思われます。**問3(データベース)**では、SELECT文の出題がなく、DDL(データ定義言語)のCREATE文が用いられたため、驚いた方も多いたと思われます。UNIQUEなどの文法知識も必要でしたが、データベースの運用方法や見直し案にほとんどのヒントがありましたので、難易度としては標準的です。**問4(ネットワーク)**は、無線LANのデータ送信がテーマでした。解答数が4つなので、1つ当たりの配点が高く、また計算問題もあるため、選択すべきか悩む問題でした。難易度はやや高めです。**問5(ソフトウェア設計)**は、注文書出力準備処理の流れ図とテストケース設計を扱った問題です。流れ図が長いので難しそうに見えますが、聞かれているのが比較的解き易い箇所でしたので、全体の難易度は標準的です。**問6(マネジメント)**は、プロジェクトの要員計画に関する問題ですが、過去に類似問題があり、それよりも解き易くなっていました。**問7(戦略)**は、在庫補充方法をテーマとし、設問2で決定表を用いているのが特徴的です。問題文の条件を見ながら解答すればよく、やや易しめ～標準的な難易度の問題です。

必須問題の**アルゴリズム(問8)**は、最短経路探索のプログラムが出題されました。難しいテーマですが、プログラムの説明で、プログラム中の各ブロックの処理を詳細に説明しています。それらとプログラムを同時に見ながら、空欄に関係する必要な条件や処理などのヒントを、対応する問題文の記述から見つけ出せたならば、空欄を埋めることができたでしょう。また、設問2のトレースもプログラムを理解するヒントになっていますので、各空欄を解き進めながら、プログラムを読むことが重要でした。難易度は高めです。

後半の**プログラム言語及び表計算(問9～13)**では、問9(C)及び問11(Java)の難易度が例年よりやや易しい印象がありました。その他の言語も、後半にやや難しい空欄もありましたが、標準的な難易度でした。したがって、選択した言語間の差はないと言っていいでしょう。

今回は、必須問題である問8のアルゴリズムの難易度が高めだったので、午後試験全体としては、やや難しかった前回と同程度の難易度であったと考えます。アルゴリズム以外の問題で、どれだけ正答を出せたかが、合格の鍵を握るでしょう。

この講評の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

Copyrights by TAC Co.,Ltd.2017

## 【予想配点】

### 【午前】

各 1.25 点

### 【午後】

問 1 (配点 12 点)

設問 1 1.5 点

設問 2 a-1.5 点

設問 3 b~d-各 3 点

問 2 (配点 12 点)

設問 1 a~c-各 2 点

設問 2 d, e-各 3 点

問 3 (配点 12 点)

設問 1 2 点

設問 2 a, b-各 2 点

設問 3 c, d-各 3 点

問 4 (配点 12 点)

設問 1 a, b-各 3 点

設問 2 c-3 点

設問 3 3 点

問 5 (配点 12 点)

設問 1 a, b-各 2 点

設問 2 c, d-各 3 点

設問 3 2 点

問 6 (配点 12 点)

設問 1 a~d-各 2 点

設問 2 e, f-各 2 点

問 7 (配点 12 点)

設問 1 a~c-各 1.5 点

設問 2 d, e-各 1.5 点

設問 3 f~h-各 1.5 点

問 8 (配点 20 点)

設問 1 a-3 点, b-2 点, c, d-各 3 点

設問 2 e~g-各 3 点

問 9 (配点 20 点)

設問 1 a, b-各 2.5 点, c-3 点

設問 2 d, e-各 3 点

設問 3 f, g-各 3 点

問 10 (配点 20 点)

設問 1 a-2 点, b~d-各 3 点

設問 2 e~g-各 3 点

問 11 (配点 20 点)

設問 1 a-2.5 点, b~d-各 3 点

設問 2 e-2.5 点, f, g-各 3 点

問 12 (配点 20 点)

設問 1 a~c-各 3 点

設問 2 d-3 点

設問 3 e, f-各 4 点

問 13 (配点 20 点)

設問 1 a-3 点

設問 2 b~d-各 3 点

設問 3 e, f-各 4 点

以上